事故防止のために

この商品は壁材です。壁以外の部位には使用しないでください。

死亡または重傷を負う可能性が想定される場合の表示です。

1．強風・雨天・降雪時の高所作業は中止してください。
風にあおられる・雨や雪ですべるなどの原因で、落下事故の可能性があります。
2．高所作業は関係法規に従ってください。落下事故の可能性があります。

取り扱いをあやまると傷害を負う危険や物的損害などの可能性が想定される場合の表示です。

1．取り扱いの際はゴム付き手袋や保護眼鏡などの適切な保護具を着用してください。ケガをする可能性があります。
2．現場加工時、鋼板の切断面に生じたバリは取り除いてください。ケガをする可能性があります。
3．施工の際は防水のため、働き幅による割り付けを守ってください。
4．防火のため、加熱・排気などの箇所の取り扱いには、めがね石など有効な部材を使用してください。
5．包装材・残材などは産業廃棄物として処分してください。
6．タッチアップペイントなどは使用法を確認のうえ正しく使用してください。
7．電動工具など、工具の使用の際は、各工具の取扱説明書に従って正しく使用してください。

1. 防火ヴァンドRZ型の概要

1−1　商品タイプ

防火ヴァンドRZ型50　　単体防火タイプ〈よこ張り専用品〉
防火ヴァンドRZ型50V　単体防火タイプ〈たて張り専用品〉

45分準耐火構造と単体で防火構造及び不燃材料認定を取得しています。
パネル本体の働き幅は600㎜、パネルの厚さは50㎜です。

1−2　特　　長

表面材は耐候性に優れたフッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板を標準設定。
色調変化が起こりにくく、長期にわたって建物の外観を美しく保ちます。また、高い日射反射率を誇り、表面温度の上昇による熱の侵入を抑えます。

表面仕上げ

表面はフラット仕上げ、裏面はエンボス仕上げとなります。

意　匠　性

プレスによる端部箱折加工を採用しました。たて目地部をシーリング処理で納めることが可能です。

両面ガルバリウム鋼板

表面材・裏面材共に耐久性に優れたガルバリウム鋼板を採用しています。
表面材は耐候性に優れたフッ素樹脂塗装です。

耐　震　性

サンドイッチ鋼板ゆえの軽量とジョイント方式で、層間変形角1／50※1でも追従できます。（試験結果：パネル脱落なし、本体表面箱折部付近の変形、シーリングの切れあり）

※1：裏面鋼板板厚の違う働き幅900㎜品の測定値。

断 熱 性 能

しん材にロックウールを採用しており、熱貫流率が1.07W／m^2K※2とALC100㎜を凌ぐ断熱性能を発揮します。

※2：目地部を含む壁全体の測定値。

水　密　性

独自のかん合形状に加え、太径防水パッキンの採用により、高く安定した防水性を発揮します。また、捨板類の付属品にも防水パッキンを採用し、防水性能を高めました。

プレカット

ご指定寸法※3で建築現場に納入するプレカット方式を採用。工期の短縮、環境負荷の低減に大きく貢献します。

※3：1,800㎜～9,000㎜

特注寸法

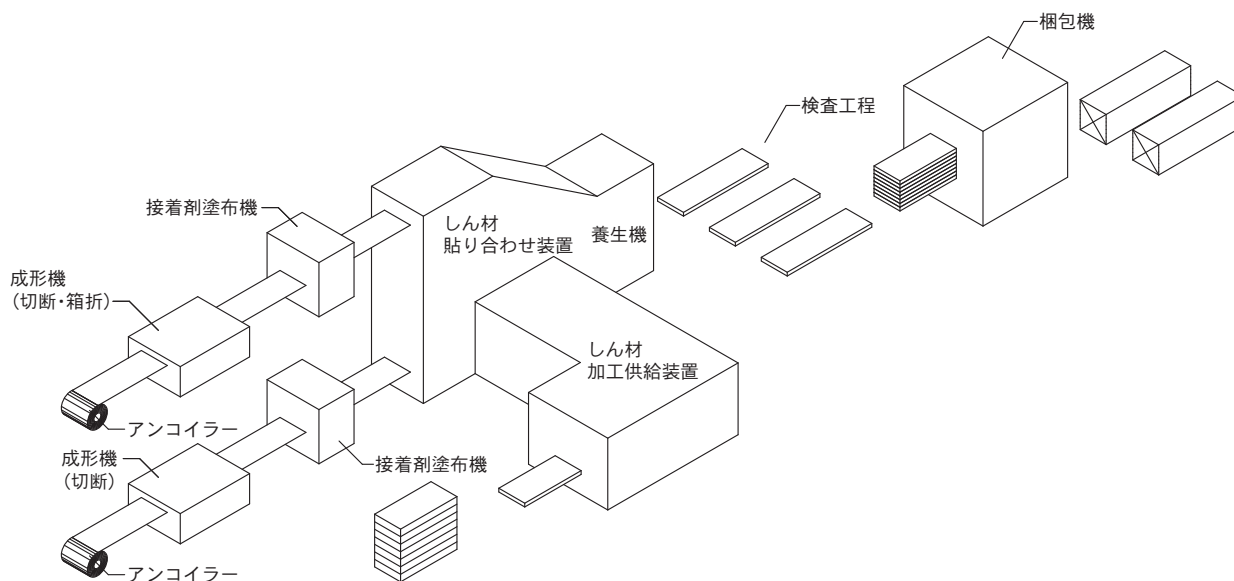
オプションで最短300㎜～最長11,500㎜まで対応しますので※4、効率的なパネル割が可能です。現場での省力化や廃材の削減に貢献します。

※4：300㎜～899㎜、900㎜～1,799㎜はそれぞれ別途加工賃を申し受けます。
詳しくは弊社またはアイジーヴァンド取り扱い店へお問い合わせください。

1−3　用　　途

・工場　・倉庫　・大型店舗　・共同住宅　・低層オフィス　・公共施設　など

1−4　製造工程

〔防火ヴァンドRZ型50／RZ型50V〕

1－5　本体規格

		防火ヴァンドRZ型50単体防火タイプ	防火ヴァンドRZ型50V単体防火タイプ
規格	働き幅(mm)	600	
	総幅(mm)	642	
	長さ(mm)	1,800～9,000※1	
	厚さ(mm)	50	
	重量(kg／m²)	17	
	箱折	あり	
施工方法	張り方向	よこ張り	たて張り
表面材	材質	ガルバリウム鋼板	
	板厚(mm)	0.5	
	塗装種別	フッ素樹脂塗装	
	表面意匠	フラット	
しん材	材質	ロックウール	
裏面材	材質	ガルバリウム鋼板	
	板厚(mm)	0.35	
	塗装種別	ポリエステル樹脂塗装	
	表面意匠	エンボス（カワシボ柄）	
	塗色	アイボリー	

※1　300mm～1,799mm、9,001mm～11,500mmまで製造可能（オプション）。
300mm～899mm、900mm～1,799mmはそれぞれ別途加工賃を申し受けます。
詳しくは弊社またはアイジーヴァンド取り扱い店へお問い合わせください。

1－5－1　カラーラインナップ

	塗装種別	色　名	日塗工番号（近似）※2	マンセル値（測定値）
標準色	フッ素樹脂塗装	シルバーS	※3	4.6G　7.0／0.1※4
		ホワイト	FN-90	9.3YR　8.5／0.1
		アイボリー	F22-85C	2.6Y　8.1／1.4
		シャンパンゴールド	※3	7.5Y　6.4／0.5※4
準標準色	フッ素樹脂塗装	グレー	FN-75	6.3BG　7.2／0.2
		ガングレーM	※3	9.3B　4.2／0.8※4
裏面材	ポリエステル樹脂塗装	アイボリー	F22-85C	2.6Y　8.1／1.4

※2　2011年F版の日塗工番号です。
※3　メタリック色は、日塗工番号の設定がありません。
※4　メタリック色は、光の強さや見る角度によって色が変わって見えるため、マンセル値での表現が困難です。上記値は、一定角度での測定値を代表値としております。実際の色の見え方とは異なり、輝度感も反映されておりません。上記値で塗料などの調色（色合わせ）を行っても色が合いませんので、調色を行う際は、実物と色合わせをお願いします。

1－5－2　認定関係

	防火ヴァンドRZ型50 単体防火タイプ	防火ヴァンドRZ型50V 単体防火タイプ
45分準耐火構造認定	QF045NE－0020 下地条件：@2,000mm以下 C100×50×20×2.3以上※5 （せっこうボード9.5mm以上+12.5mm以上内装重ね張り）	QF045NE－0033※6 下地条件：@2,000mm以下 C100×50×20×2.3以上 （せっこうボード15mm以上内装張り）
防火構造認定	PC030NE－0155 下地条件：@2,000mm以下 C100×50×20×2.3以上※5	PC030NE－0155※6 下地条件：@2,000mm以下 C100×50×20×2.3以上
材料認定	NM－2818	

※5　たて目地部の胴縁は、シーリングタイプ、ふかしタイプで納める場合は□100×100×2.3以上または、2C100×50×20×2.3以上とし、フラットタイプで納める場合は□100×100×2.3以上としてください。
※6　たてつなぎ（中間水切）部は、上記構造認定の対象外です。注意してください。

1－6　材料特性

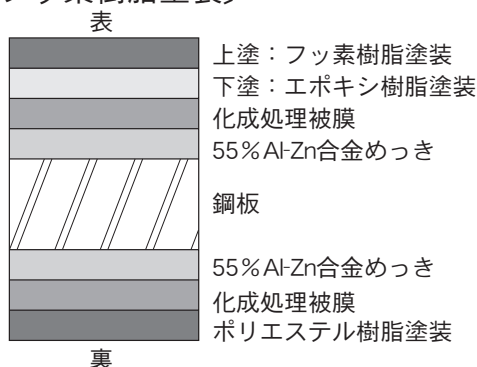
1－6－1　面材特性

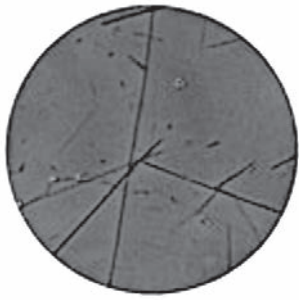
■仕様

	塗膜タイプ名称	塗装	めっき目付量	板厚
表面材	フッ素メタリック	フッ素樹脂塗装	AZ150	0.5㎜
	フッ素			
裏面材	カラー	ポリエステル樹脂塗装	AZ150	0.35㎜

■表面材塗膜構成

〔フッ素樹脂塗装〕

■特性表

項　目		データ フッ素樹脂塗装	試験方法
硬　　度		F	鉛筆硬度(JIS-G-3322)
加　工　性		2T：塗膜の剥離なし	万力折曲(JIS-G-3322)
耐衝撃性		塗膜の剥離なし	デュポン式(JIS-G-3322)
促進耐候性 光沢保持率		1000時間 80％以上	サンシャイン試験 (JIS-B-7751)
耐　湿　性		1000時間 平面部のブリスター8F以内	湿潤試験 (JIS-G-3322)
耐沸騰水性		5時間異常なし	JIS-G-3322
耐　食　性		2000時間 平面部のブリスター8F以内	塩水噴霧試験 (JIS-G-3322)
耐　酸　性		24時間 著しいフクレ、変色なし	5％HCl
耐アルカリ性		24時間 著しいフクレ、変色なし	5％NaOH
耐汚染性	黒マジック	少し残る	20℃24時間 エタノール拭き
	青マジック	僅かに残る	

○上表内の値は表面材（外皮）の性能を示します。裏面材の仕様は異なります。
○上表内の値は各試験結果の代表値であり、保証値ではありません。

1−6−2　しん材

■ロックウール

防火ヴァンドRZ型50／RZ型50Vのしん材に採用しているロックウールは、耐熱性に優れた高炉スラグや玄武岩などを主原料として、キュポラや電気炉などで1,500〜1,600℃の高温で溶融し、遠心力などで吹き飛ばして繊維状にした「人造鉱物繊維」です。断熱性・吸音性・耐火性などに優れた性能を発揮します。

〔ロックウールとアスベストの違い〕

ロックウール（岩綿）とアスベスト（石綿）は全く違う物です。ロックウールは人工的に製造された鉱物繊維で、繊維径が太く（アスベストの数十倍〜数百倍）吸い込みにくいのに対して、アスベストは天然の鉱物繊維で繊維径がきわめて細く、吸い込みやすい特徴があります。ロックウールはIARC（国際がん研究機関）において「発がん性に分類できない“グループ3”」に分類されています。

	ロックウール	アスベスト
別　名	岩綿（がんめん）	石綿（せきめん、いしわた）
天然鉱物有無	人造の鉱物繊維	天然の鉱物繊維
結晶性有無	非結晶（ガラス質）	結晶質
繊維径	単繊維の平均繊維径3〜5μm （呼吸系に入りにくい）	ロックウールの数十〜数百倍細い （呼吸系に入りやすい）
顕微鏡写真 （100倍）	【単繊維】	【束の状態】
発がん性分類	国際がん研究機関で、グループ3 「発がん性に分類できない」に該当 （お茶と同じグループ）	国際がん研究機関で、グループ1 「発がん性あり」に該当 （喫煙と同じグループ）

※ロックウール工業会資料参照